たばこ増税に関する500人調査

２００９年１２月２１日

（財）関西社会経済研究所

KISER 財団法人 関西社会経済研究所
Kansai Institute for Social and Economic Research

アンケート実施要領

実施日：２００９年１２月１２日（土）、１３日（日）

抽出方法：楽天リサーチモニターの喫煙者パネルから下記ガイドライン
に沿って抽出

≪喫煙者パネル５００名の年齢・性別内訳≫

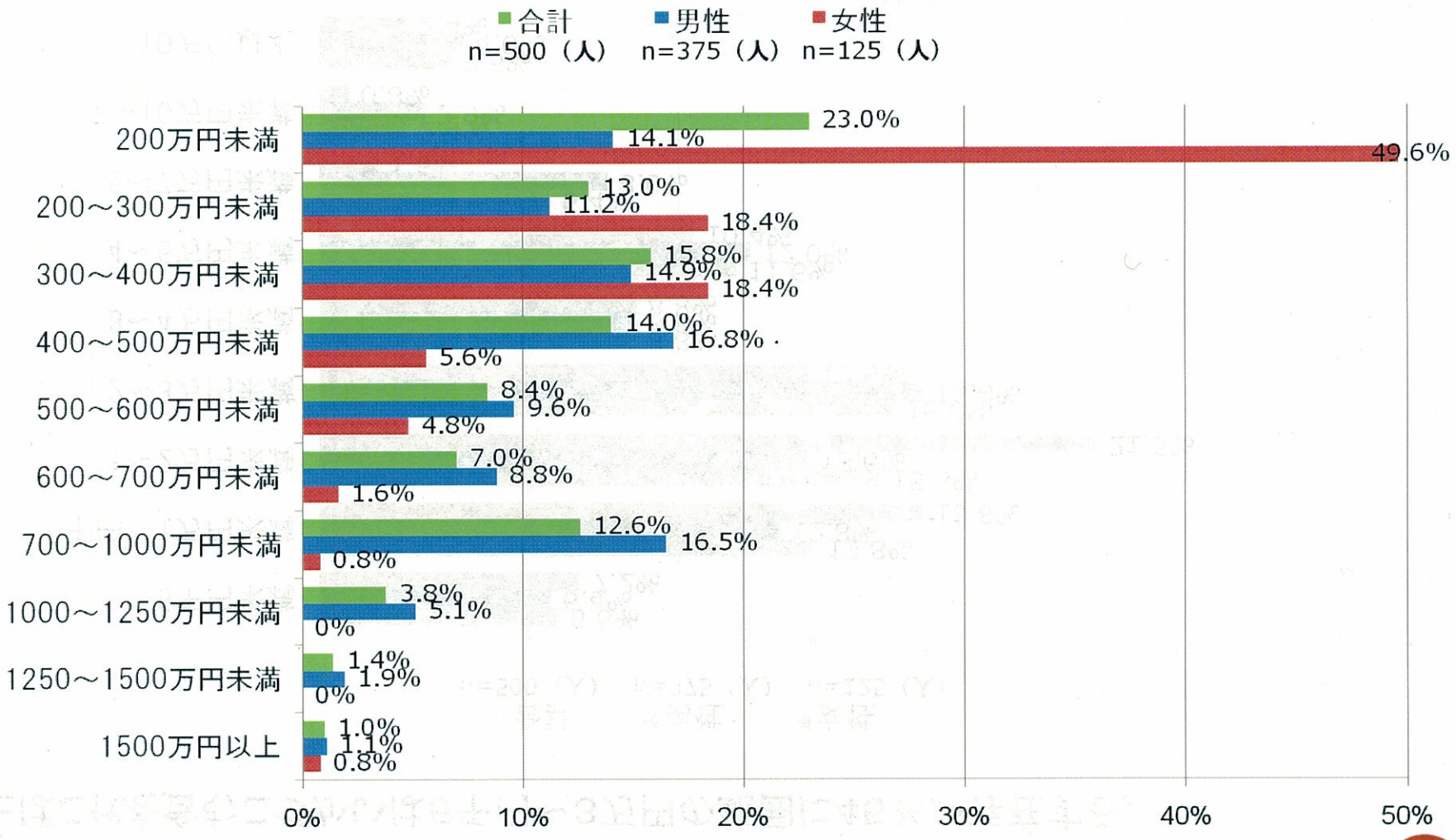
（名）

	男性	女性	合計
２０代	６７(13.3%)	２５(5.0%)	９２(18.4%)
３０代	９７(19.2%)	３４(6.7%)	１３１(26.2%)
４０代	７８(15.5%)	２６(5.1%)	１０４(20.8%)
５０代	８８(17.6%)	３０(5.9%)	１１８(23.6%)
６０代	４５(9.4%)	１０(2.3%)	５５(11.0%)
合計	３７５(75.0%)	１２５(25.0%)	５００(100%)

（注）構成比(%)はＪＴの喫煙者率調査データより算出

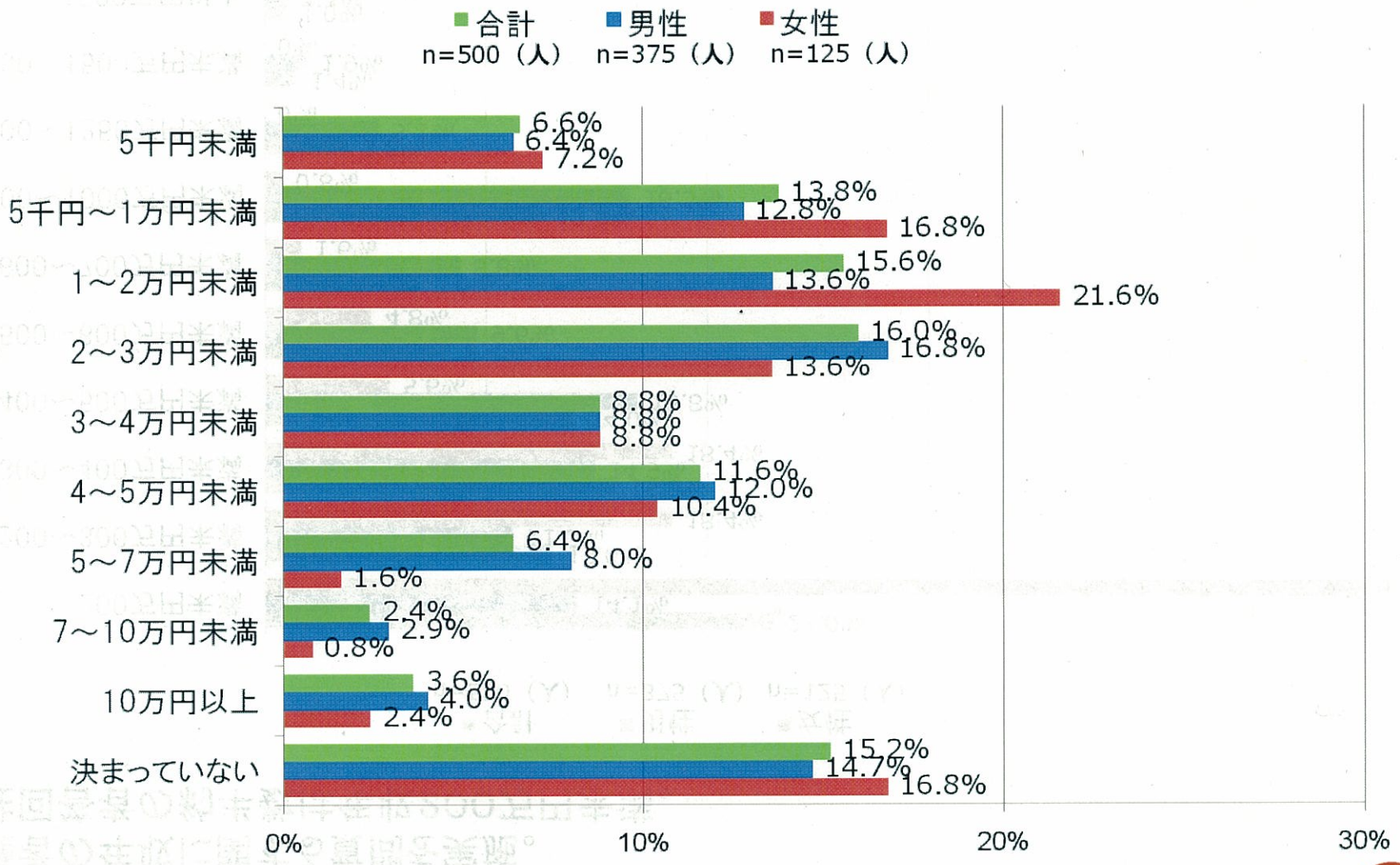
1．年収

喫煙者の年収に関する質問を実施。
女性回答者の約半数は年収200万円未満。



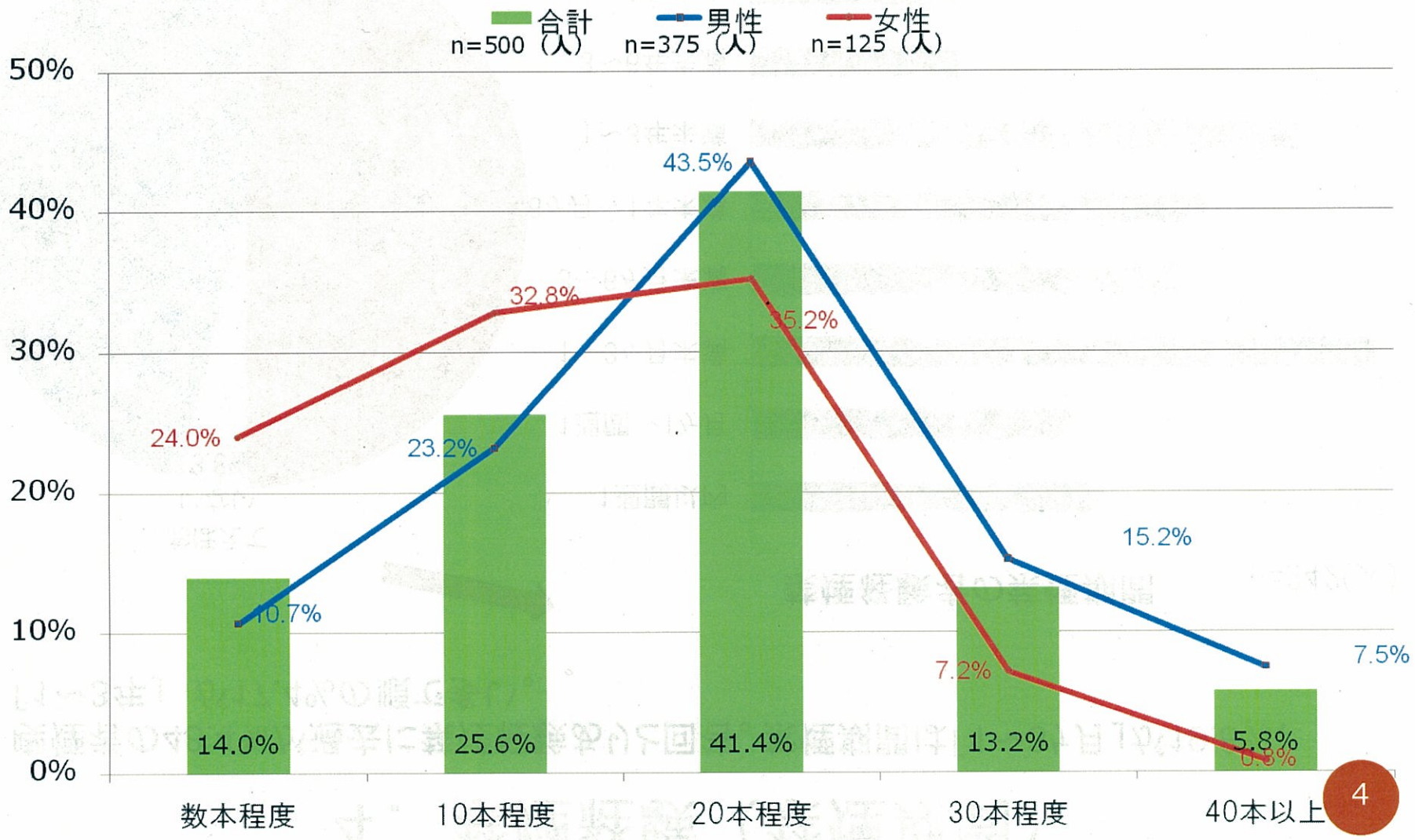
2．１ケ月のこづかい

たばこ代を含むこづかいは5千円～3万円の範囲に45%が存在する。



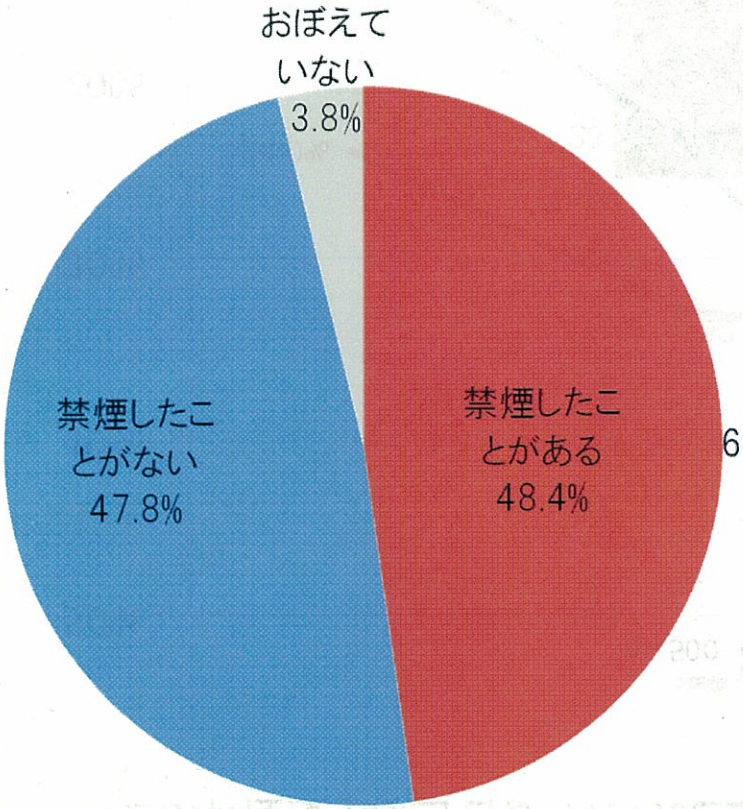
３．１日の平均喫煙本数

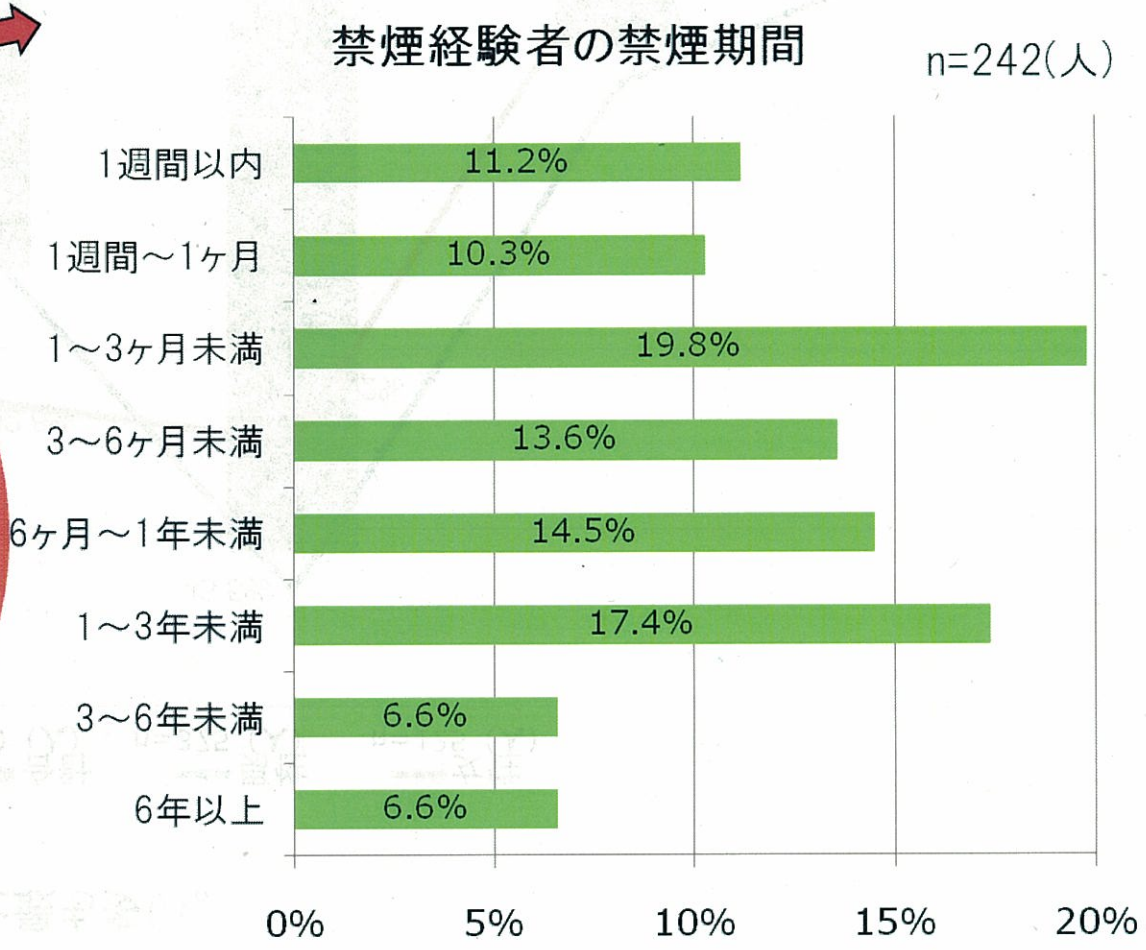
「20本程度」の回答が41.4%と最も多い。



4．禁煙経験（禁煙期間）

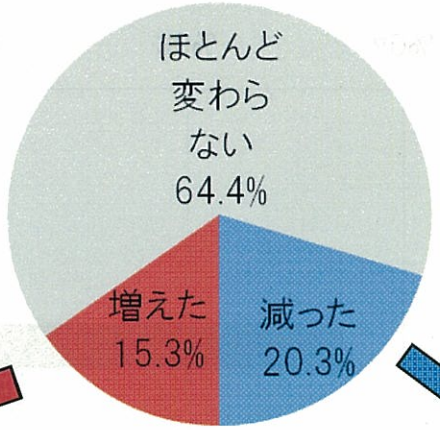
喫煙者の48.4%が過去に禁煙経験ありと回答。禁煙期間は「1～3ヶ月」が19.8%、「1～3年」 が17.4%の順で多い。

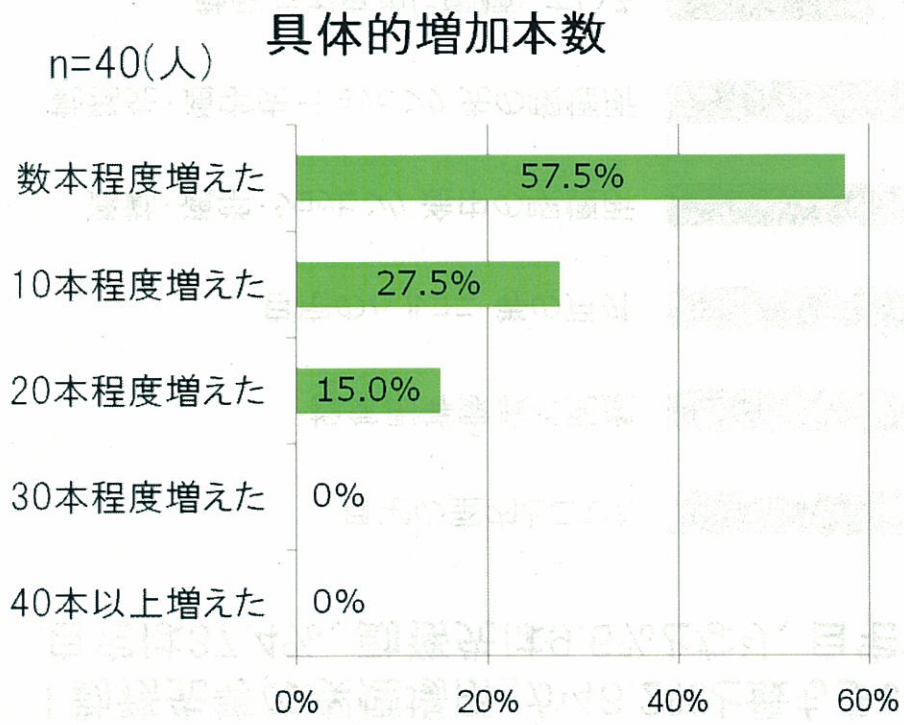


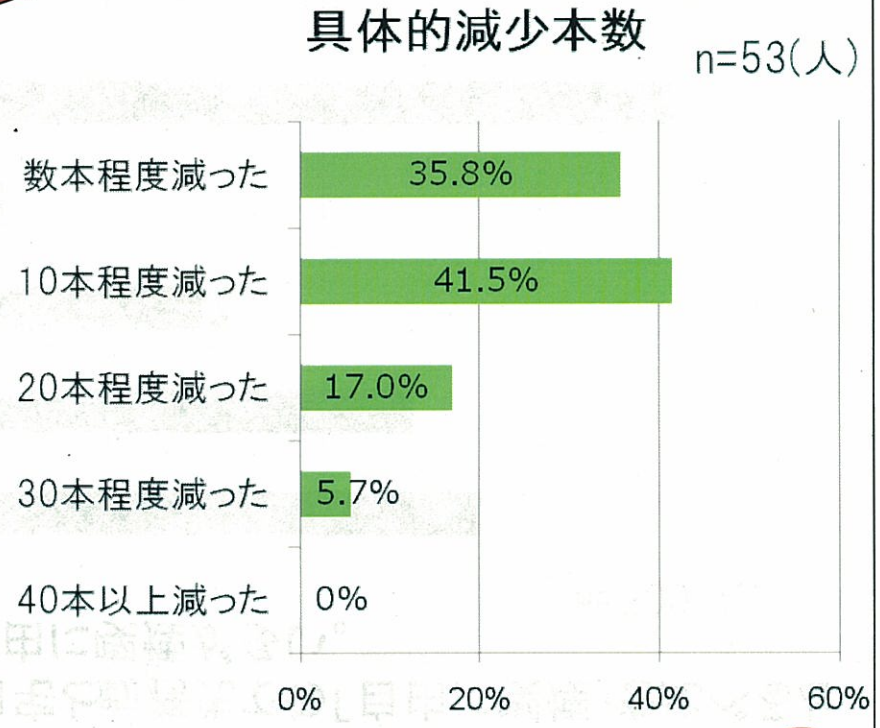


5．喫煙再開後の喫煙本数

禁煙経験者の喫煙再開後の喫煙本数は「ほとんど変わらない」が64.4%と最も多い。



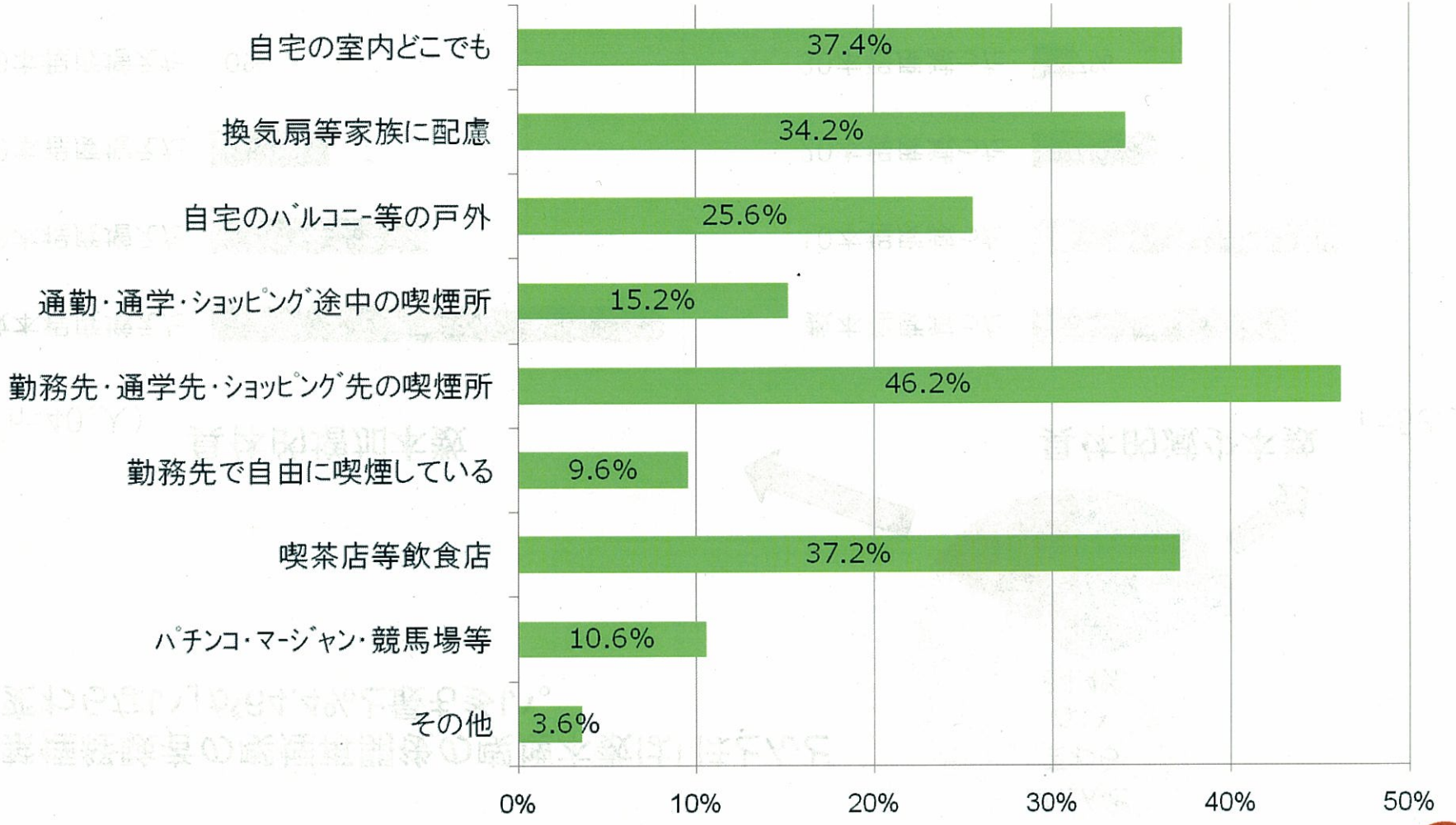




6．喫煙場所（複数回答）

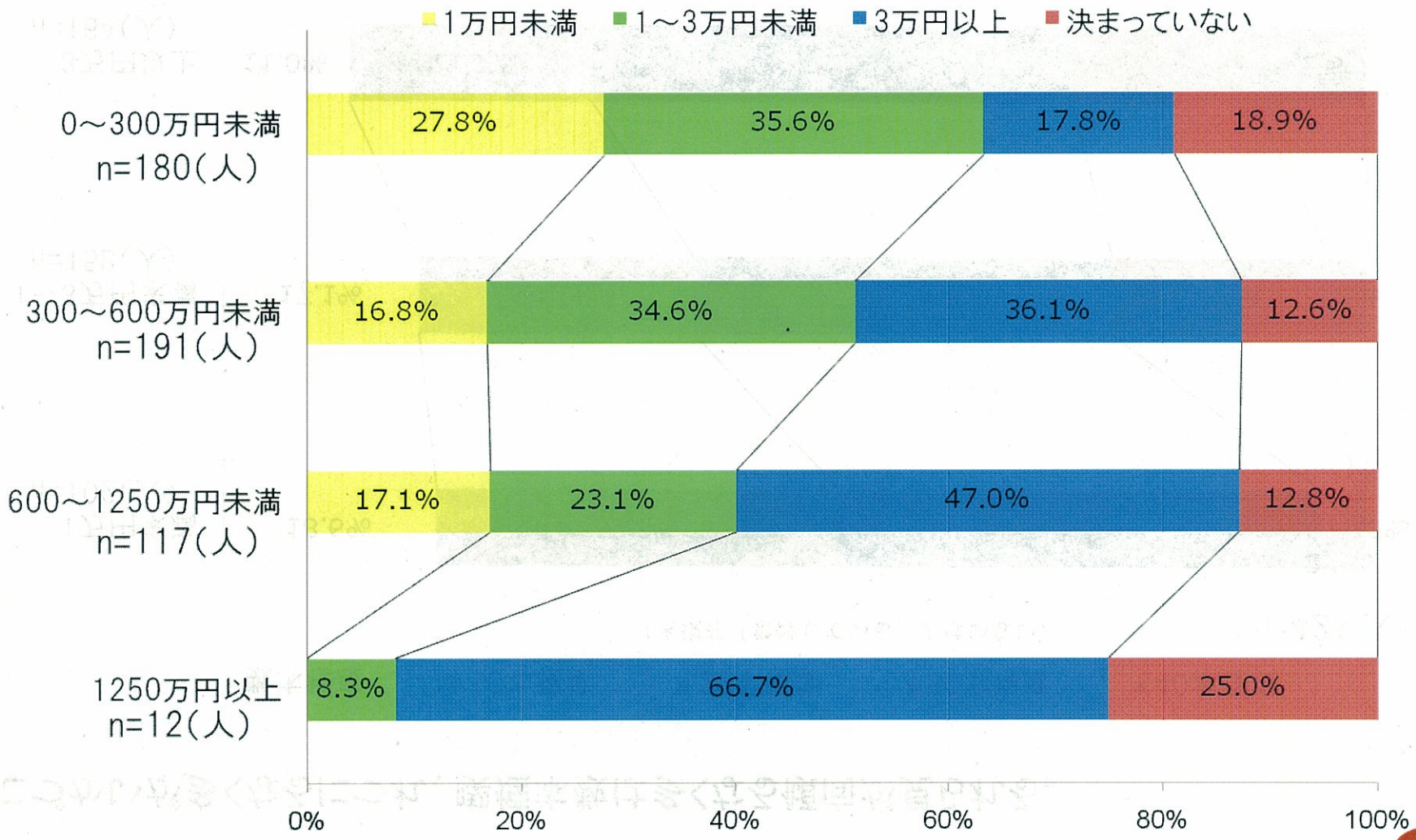
「勤務先等の喫煙場所」が46.2%と最も多い。自宅と勤務先での「自由に喫煙」を比べると、自宅は37.4%、勤務先は9.6%となり、自宅で自由に喫煙が多い。

n=500(人)



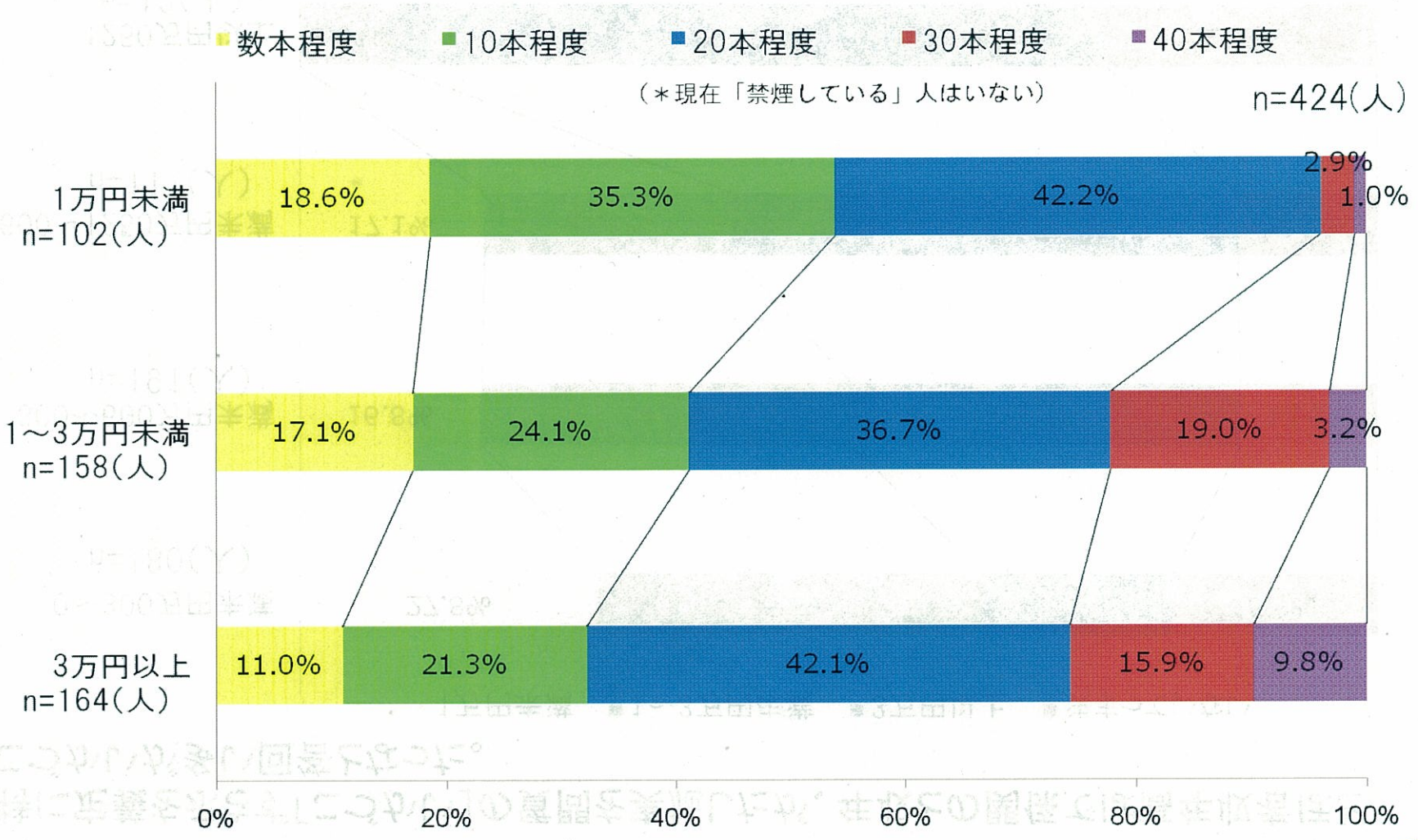
7．年収とこづかい

特に定義を示さず「こづかい」の質問を実施したが、年収との関係では高年収者ほどこづかいが多い回答となった。



8．こづかいと１日の平均喫煙本数

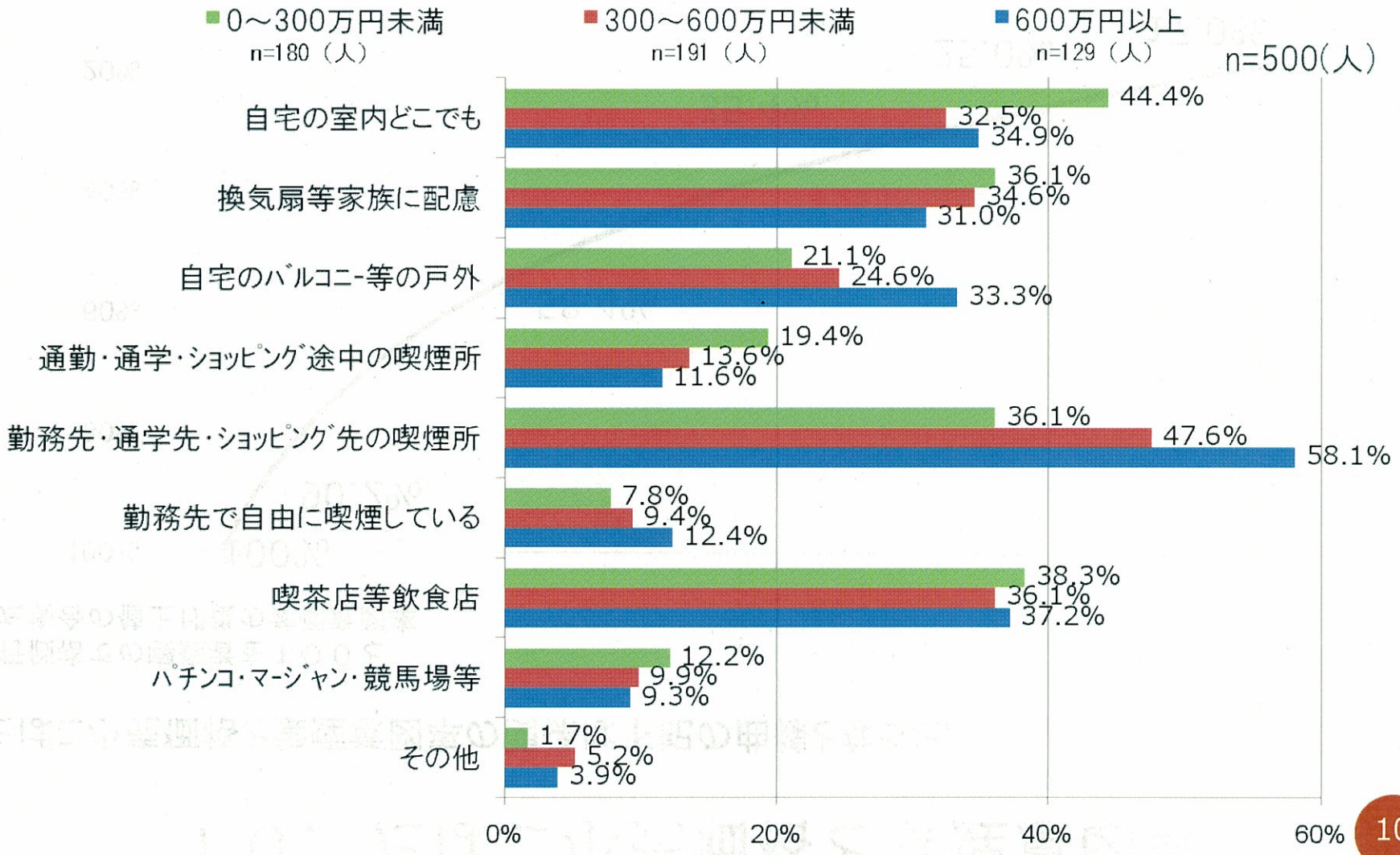
こづかいが多くなるにつれ、喫煙本数は多くなる傾向が見られる。



（＊こづかい「決まっていない」人は除く）

9．年収と喫煙場所（複数回答）

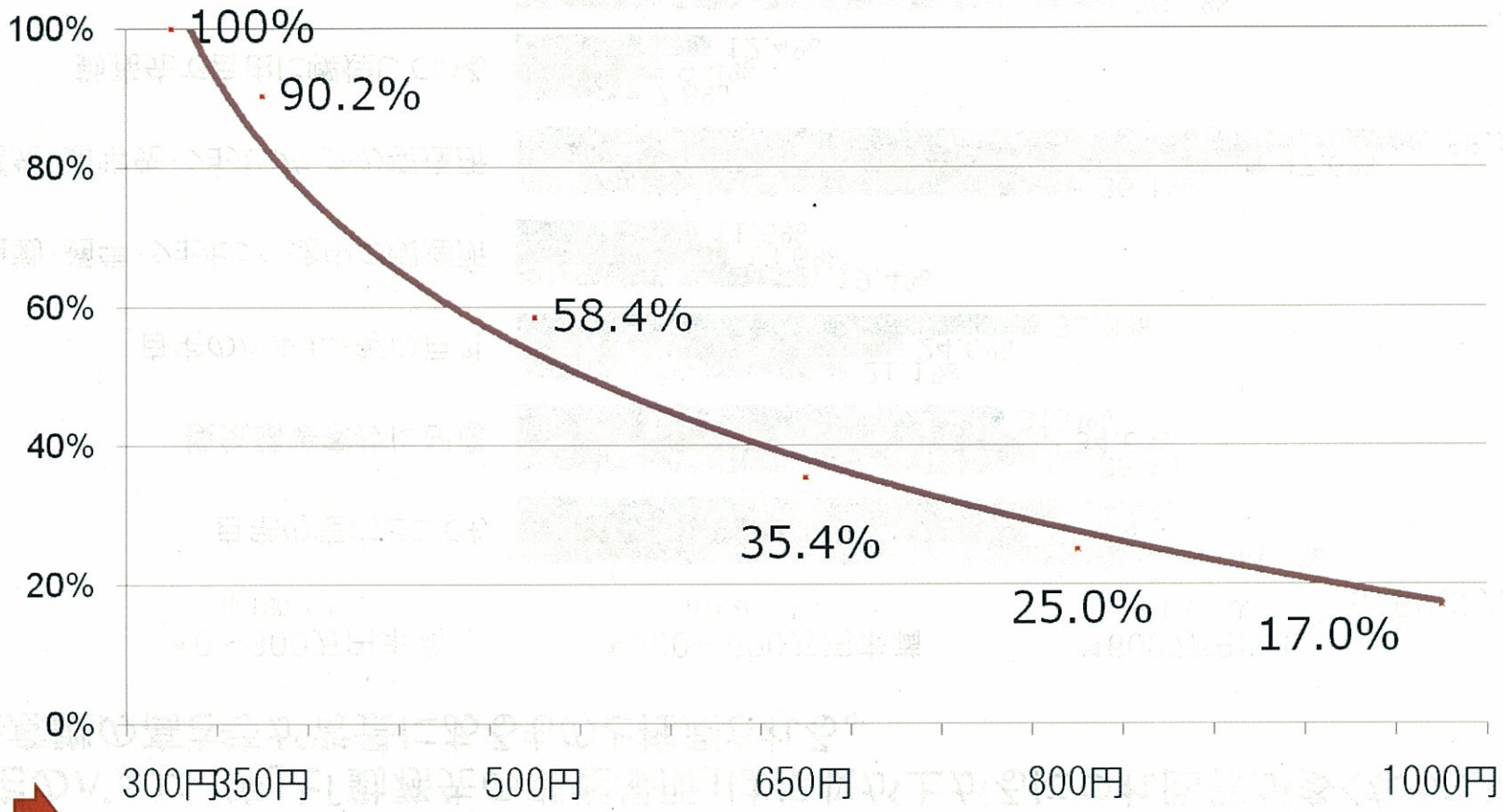
「自宅のﾊﾞﾙｺﾆｰ等」と「勤務先の喫煙場所」は年収が上がるにつれ回答が多くなっている。
健康意識の高さ等が背景にあるものと推測される。



１０．たばこ小売価格と禁煙意図率

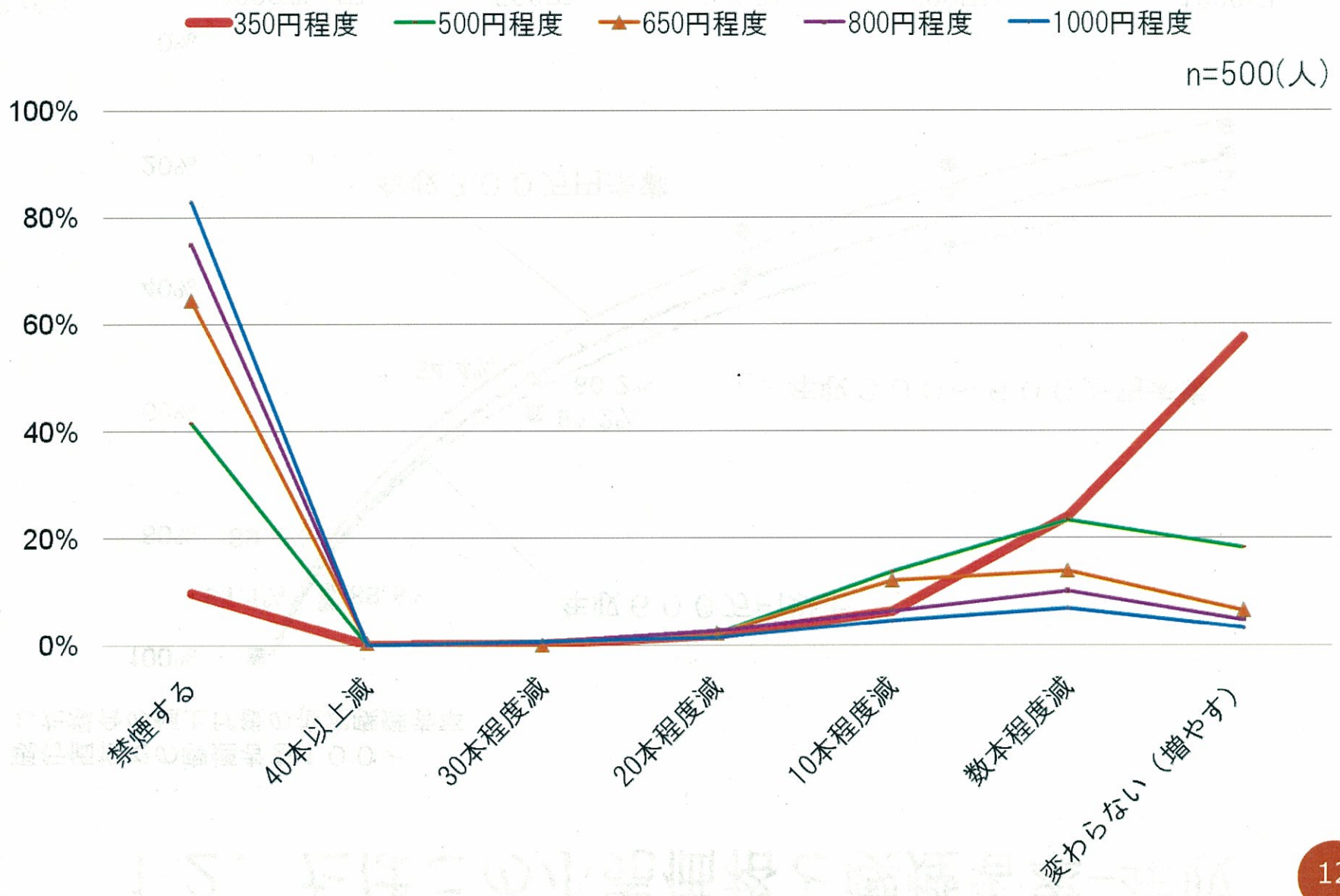
たばこ小売価格と禁煙意図率の関係は下記の曲線となった。

現行価格での喫煙者を１００とした場合の値上げ後の禁煙意図率



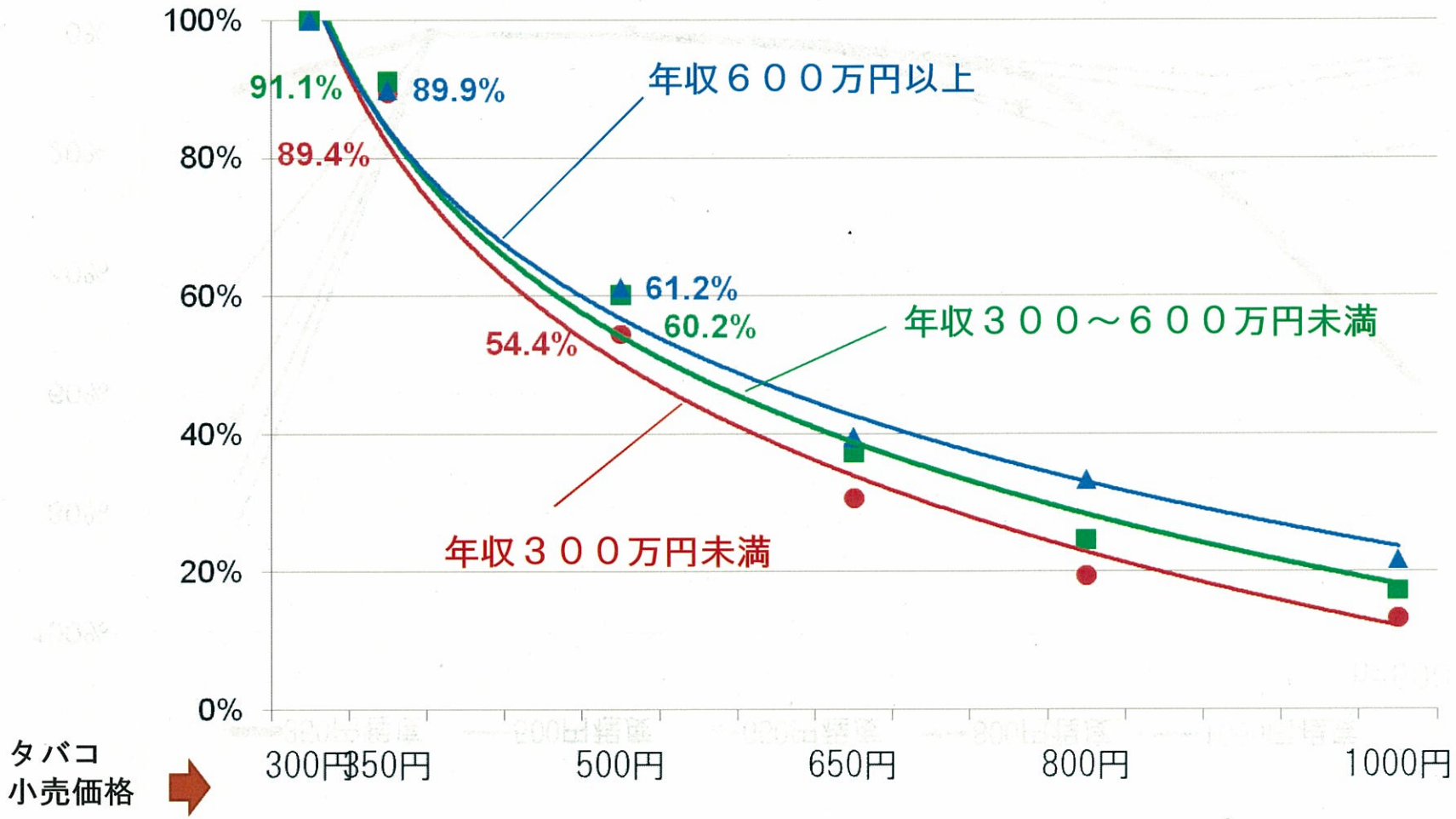
タバコ
小売価格

１１．たばこの値上げ後価格と喫煙率



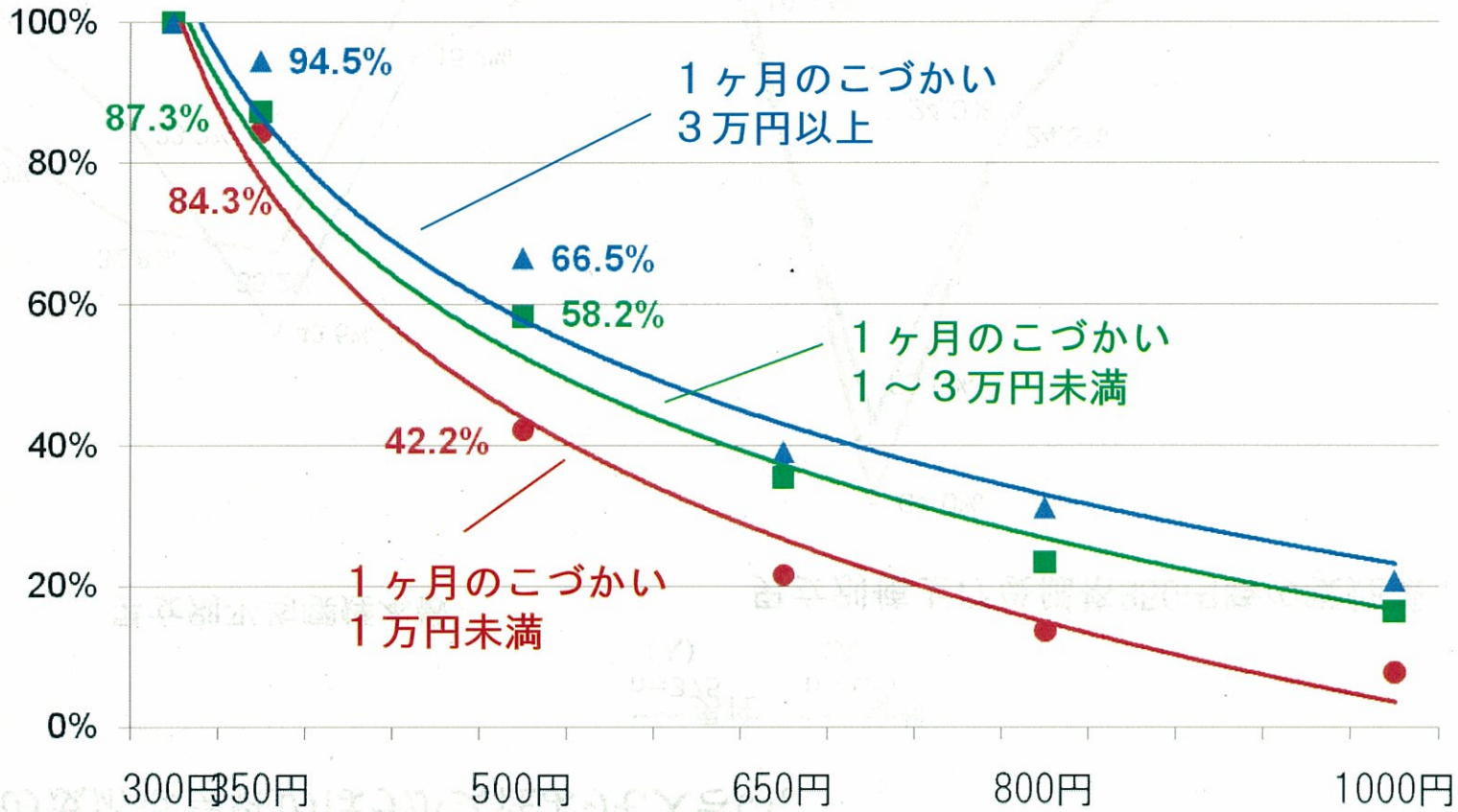
１２．たばこの小売価格と喫煙者率-年収

現行価格での喫煙者を１００とした場合の値上げ後の推定喫煙者率



１３．たばこ小売価格と喫煙者率（予定）
－１ヶ月のこづかい

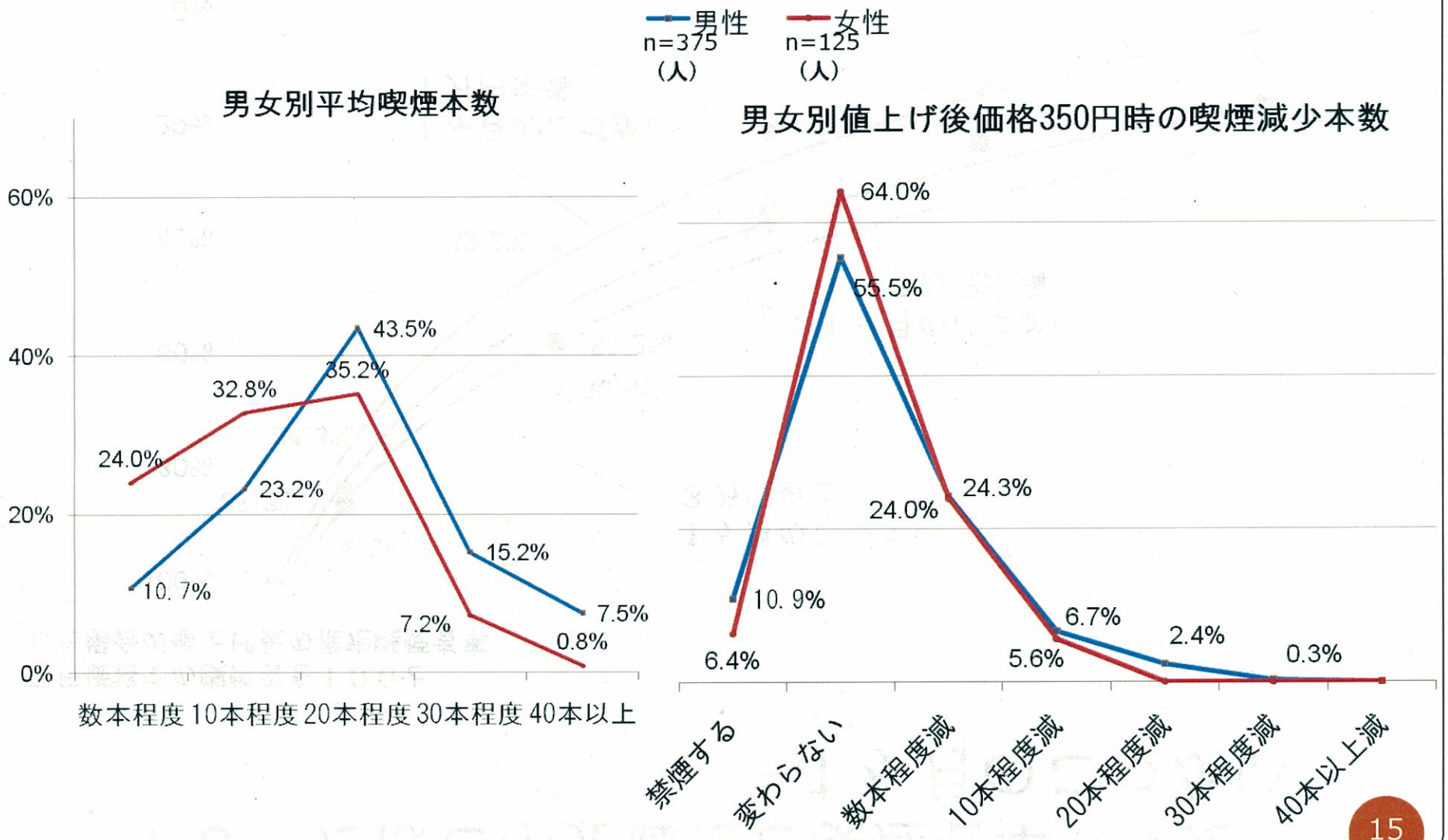
現行価格での喫煙者を１００と
した場合の値上げ後の推定喫煙者率



タバコ
小売価格

【参考】男女別平均喫煙本数と値上げ後価格350円時の推定減少本数

価格への反応は男性のほうが女性よりも大きい。



たばこ税増税に関する税収試算追加版

（財）関西社会経済研究所研究員
呉善充

2009 年 12 月 22 日における鳩山内閣による税制改正主要項目決定を受けて、たばこ価格 400 円の場合の税収試算を追加しました。

たばこ小売価格変動による税収試算概要資料

たばこ小売価格	喫煙者数（万人）	1 人 1 日あたり喫煙本数（本）	販売本数（億本）	1 本あたり税率（円）	税収（億円）	
300 円	2,591	25.0	2,402	8.7	20,800	
350 円	2,505	22.8	2,083	10.9	節煙あり	節煙なし
					22,693	24,851
400 円	2,419	22.5	1,990	13.0	25,854	28,624

備考）たばこ小売価格 300 円における税収は政府税制調査会資料（2009 年 10 月 27 日）による。たばこ小売価格 300 円時点での喫煙者数は JT が発表している 2009 年時点での喫煙率と国立社会保障人口問題研究所の 2008 年 12 月推計人口から算出している。たばこ小売価格 400 円の税収試算結果は、アンケート調査におけるたばこ小売価格が 350 円と 500 円になった場合の調査結果から推測される喫煙行動に基づいて試算したものである。